

○八管本部長の江口です。

○本日は、お忙しい中、定例懇談会にご参加頂きありがとうございます。

○先月27日開催の定例懇談会後の管内の状況ですが、海難については、19隻の船舶海難（京都府内は9隻）、25人（京都府内は7人）の人身海難が発生しており、マリレジャー関連では、死亡者3名、行方不明者が1人発生、このうち1名は、8月30日に京都府京丹後市網野町浜詰海水浴場で発生、既に閉設された海水浴場での痛ましい事故でした。

これからの季節は、例年、つり中の事故が増加しますので、安全対策の重点を海水浴から釣りにシフトして、事故を未然に防止できるよう関係機関・団体、そして安全推進釣具店とも連携して対応を強化することとしております。詳しくは、発表事項の中で担当からご説明します。

○その他、今月の管内状況といたしましては、9月1日には台風9号、6日には台風10号の通過があり、船艇・航空機の即応待機、本部、保安部署の警戒態勢を敷き、港別に関係機関と台風対策協議会を開催する等の対応を取りましたが、いずれも管内に被害なく対応を終了しております。

また、4日には、福井嶺北地区を震源とする震度5弱の地震が発生し、航空機をしょう戒させる等により状況調査を行いました。重要施設を含め大きな被害はありませんでした。

管内では、平成30年4月の島根県西部地震（震度5強）以来の震度5以上の地震発生でした。

引き続き、関係機関とも連携して関連の訓練等を実施しつつ、台風、地震等の災害に備えることとします。

○災害への備えに関連しては、10日の「おき」「えちぜん」の潜水合同訓練、そして24日の日本赤十字社との災害時応急救護活動合同訓練の取材・報道ありがとうございました。

また、災害対応とは別ですが、先月の定例記者懇談会での水上オートバイのデモに関連して、天橋立の水上オートバイの暴走問題をフォローしていただいた取材・報道もありがとうございました。

八管区の活動状況を地域の皆様に知っていただけることに加えて、安全啓発上も、広く報道して頂けることは、非常に大きな力になります。引き続き、活動状況の積極的な広報に努めて参ります。

○明日で、今年度も前半期が終了。26日には、皆様にも取材・報道頂いたように海上保安学校から学生210名が卒業し全国に赴任、八管区にも17名、うち4名は当地舞鶴に新たな仲間として着任しました。また、管区本部職員も10月1日付けで異動予定があります。

新たな体制で年度後半に向けスタートを切りますので、引き続き宜しく願いいたします。

○私からは以上です。